



2030年に向けた 水素・アンモニア サプライチェーン 推進案件

2025年3月24日

中部圏水素・アンモニア
社会実装推進会議

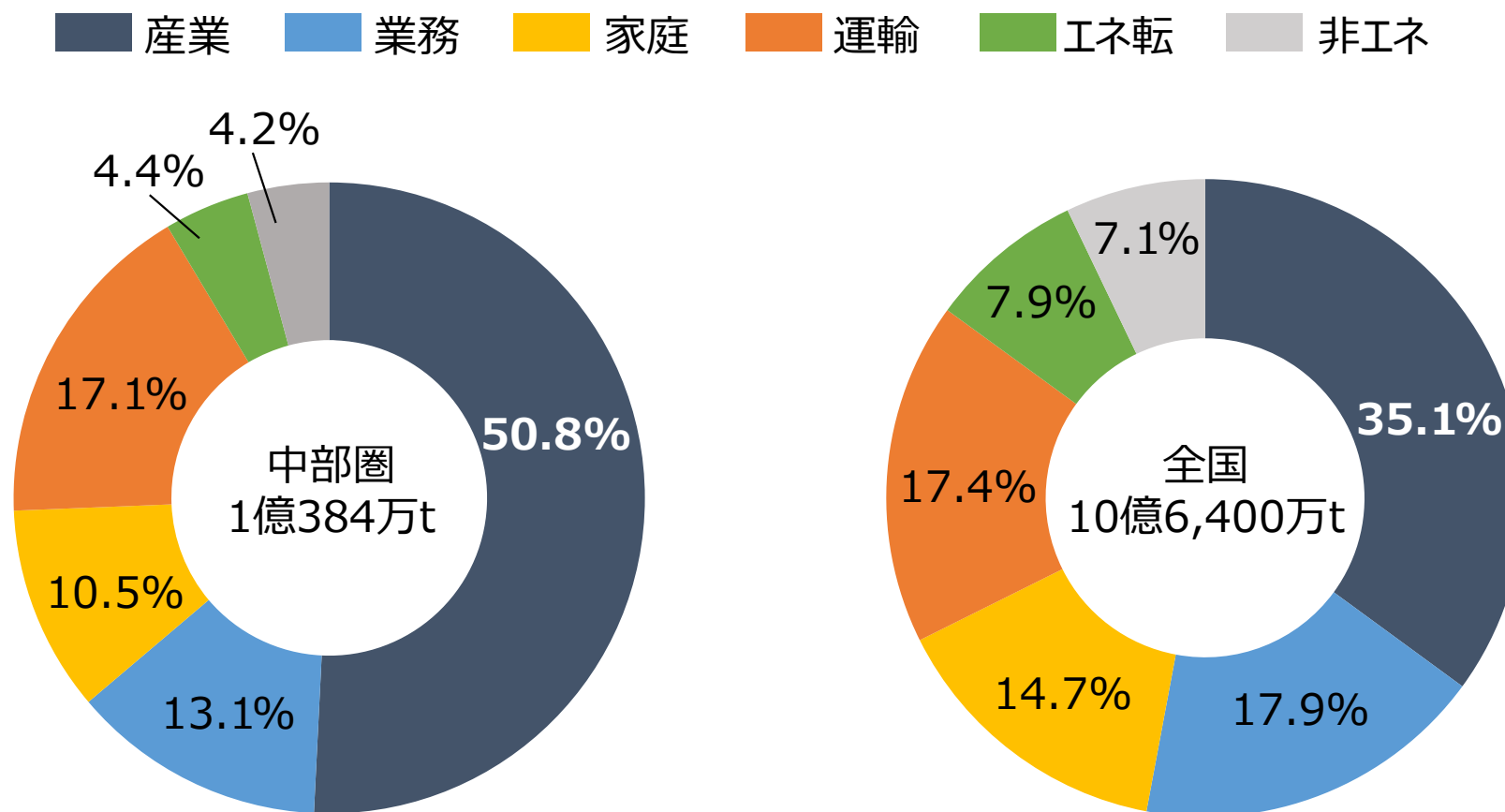
中部圏の環境

▶ 産業部門の二酸化炭素排出比率50%超

全国の二酸化炭素排出量の9.7%を占める。

中部圏の特徴として、産業部門の二酸化炭素排出量の割合が、全国と比べて大幅に高い。

二酸化炭素排出量の内訳 【2021年度】

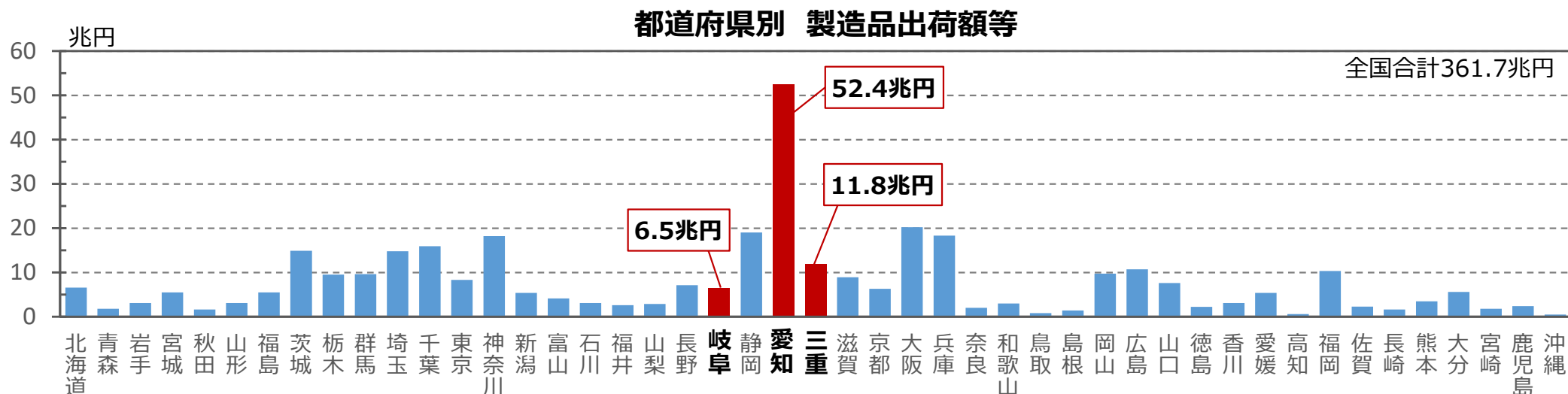


出典：環境省「2021年度の温室効果ガス排出量」、各県の温室効果ガス排出量から作成

中部圏の産業

▶ 日本一の製造業 【2022年】

自動車製造業を中心に国内有数の集積を誇り、全国の製造品出荷額等19.6%、事業所数12.9%を占める。



出典：2023年経済構造実態調査（製造業事業所調査）
（総務省・経済産業省）から作成

▶ 国内有数の火力発電力 【2024年10月】

伊勢湾岸を中心に火力発電所（30力所）が集積し、全国の火力発電量11.5%を占める。

出典：電力調査統計2024年10月（経済産業省資源エネルギー庁）

▶ 国内有数の港湾 【2023年】

国際拠点港湾2港（貨物量全国一位の名古屋港、四日市港）及び重要港湾4港を有し、全国の貨物量10.4%を占める。

出典：令和5年 港湾統計（港湾取扱貨物量等の現況）（国土交通省）

▶ 国内有数の貨物車保有数 【2024年11月】

保有数1位の愛知県はじめ、全国の貨物車（普通貨物車、小型四輪貨物車、軽四輪貨物車等）の9.4%を占める。

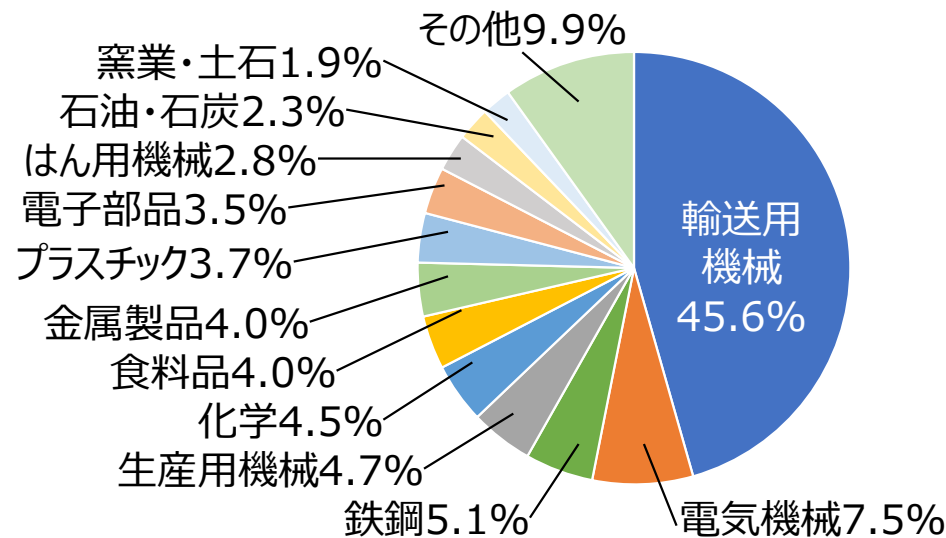
出典：都道府県別・車種別保有台数表（（一社）自動車検査登録情報協会）

中部圏の製造業

▶ 多様で厚みある製造業が集積

都道府県別の出荷金額（製造品24品目群）において、愛知県は輸送用機械をはじめ10品目群、三重県は電子部品・デバイス・電子回路の1品目群が全国一位。

中部圏の製造品出荷金額構成



都道府県別出荷金額全国1位の製造品群

【愛知県 10品目群】

▷輸送用機械 ▷電気機械 ▷鉄鋼 ▷生産用機械
▷プラスチック製品 ▷金属製品 ▷業務用機械
▷窯業・土石製品 ▷ゴム製品 ▷繊維工業

【三重県 1品目群】

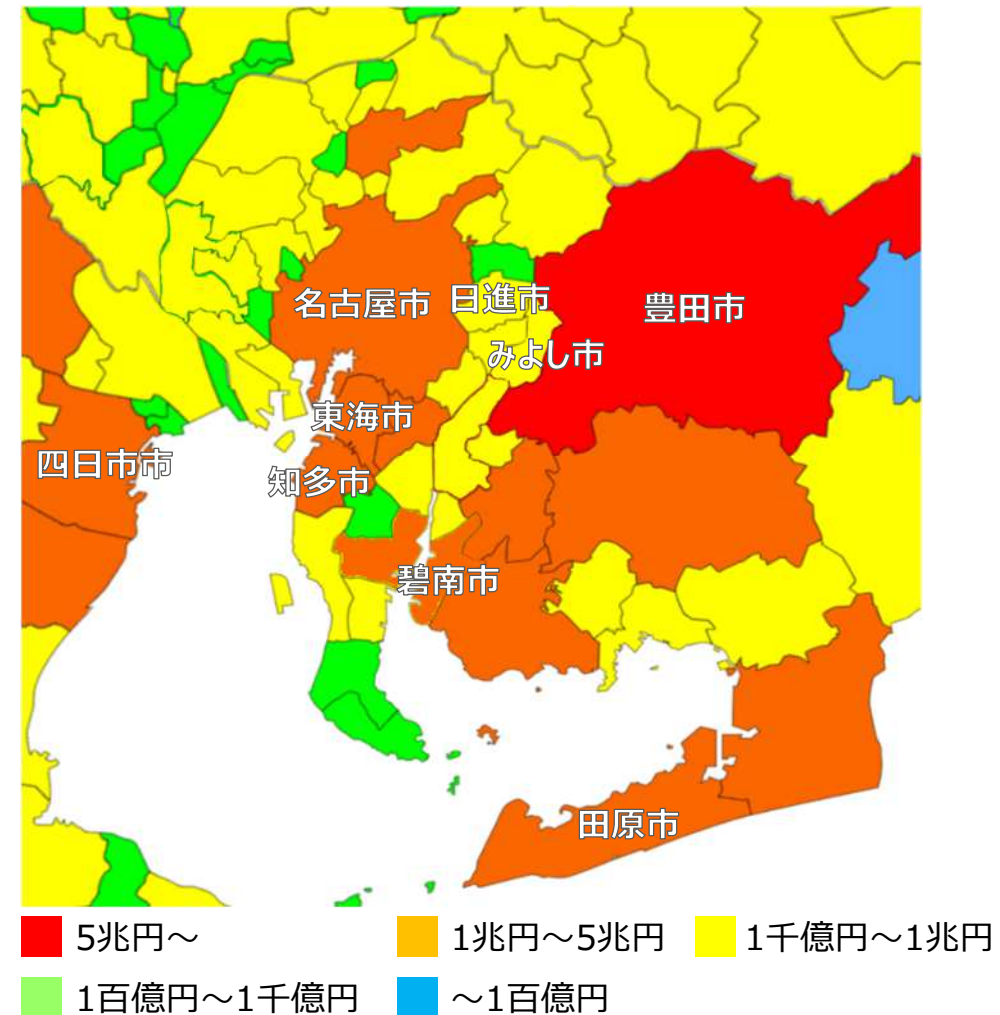
▷電子部品・デバイス・電子回路

出典：2023年経済構造実態調査（製造業事業所調査）
（総務省・経済産業省）から作成

▶ 臨海部だけでなく内陸部にも工場が集積

臨海部は、発電所や製鉄所、製油所、化学工場等が集積。内陸部には、輸送用機械や生産用機械等の工場が集積。

市町村別製造品出荷額等



出典：2023年経済構造実態調査（製造業事業所調査）
（総務省・経済産業省）から作成

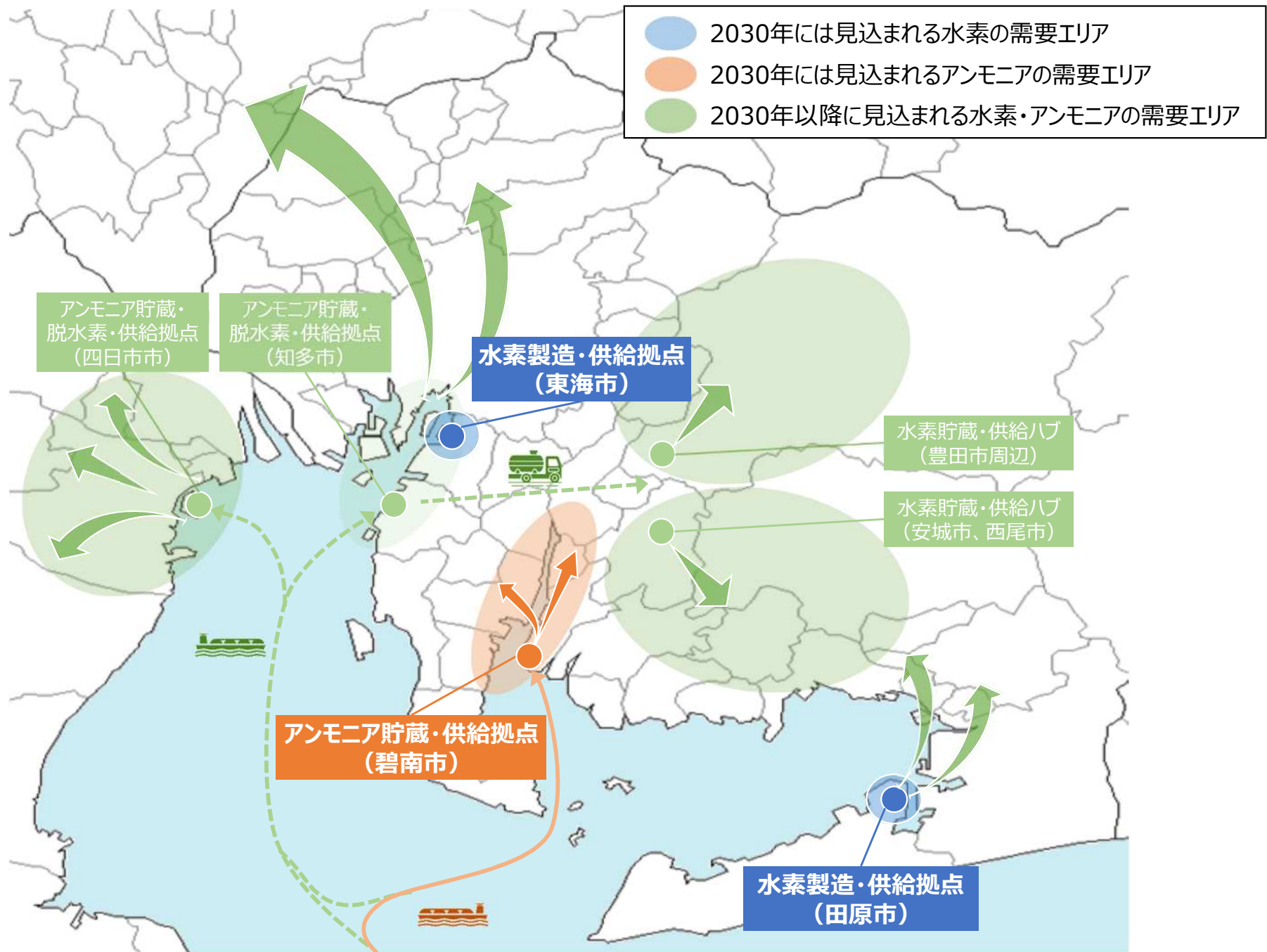
2030年に向けた水素・アンモニアサプライチェーン推進案件

- ▶ 日本一のモノづくり産業が集積する中部圏において、引き続き我が国の経済成長を牽引するために、カーボンニュートラル及びエネルギー安全保障の観点から、水素・アンモニアの需要と供給を一体的かつ大規模に創出する体制を構築することが必要。
- ▶ ファーストムーバーとして、2030年に向けて、以下の案件を立ち上げ、当地域での水素・アンモニアサプライチェーンモデルの確立を目指す。

【 2030年に向けた水素・アンモニアサプライチェーン推進案件 】

供給事業者	カーボンニュートラル燃料	調達方法	供給拠点	主な需要者	年間需要量
豊田通商株式会社 等	水素	国内製造	東海市、田原市	自動車製造業 等	数千トン
株式会社JERA	アンモニア	海外製造	碧南市	電気業、自動車製造業 等	50～100万トン

中部圏における水素・アンモニアサプライチェーンイメージ



今後の活動方針

▶ 2030年までの事業開始を目指して

2030年までの事業開始を目指す先行案件について、水素社会推進法に基づく支援獲得とともに、確実に事業が開始できるよう推進する。

▶ 本格的な需要が見込まれる2030年以降に向けて

これまでの検討において顕在化された課題を解決しつつ、大規模な供給体制の構築に向けて引き続き調査・検討を重ねるとともに、国による新たな支援制度の創設等に繋げていく。

▶ 燃料電池商用車の普及に向けて

中部の産業を支える運輸分野の脱炭素化に資する燃料電池商用車の普及を促進するため、本推進会議において推進していく。